

専門委員会の開催概要(案)

1.専門委員会の背景・目的

◆ 背景:

- グリーンエネルギーCO2削減相量認証制度(以下「本制度」という)の運営規則において、「グリーン熱種別方法論は、再生可能エネルギー熱利用の状況を踏まえ、熱の排出係数を検討するに足ると委員会が判断した後に定めるものとする。」と規定(2011/1)
- 日本自然エネルギーがグリーン熱種別方法論策定に関する要望書をグリーンエネルギーCO2削減相当量認証委員会(以下「認証委員会」という)へ提出(2012/10)
→グリーン熱証書がCO2削減相当量認証され、「メガジュール」から「トン-CO2」表記されることにより、一般消費者への訴求効果が上がることが期待されることから、企業からのグリーン熱のCO2削減量認証のニーズが高まっている。
- 認証委員会において、同委員会の下に熱分野の有識者を委員とした専門委員会の設置を承認(2012/10)

◆ 目的:

本制度の認証対象である太陽熱、バイオマス熱、雪氷熱について、グリーン熱種別方法論案の検討及び策定

論点:下記事項等に配慮した適切なグリーン熱のCO2換算方法(使用可能な二酸化炭素排出係数)はどうあるべきか?

- 地球温暖化対策推進法告示内容との整合性
- 他の関連制度との整合性
- 事業者負担

2.実施方法・スケジュール

◆ 熱の方法論の実施方法・スケジュール(オレンジ枠内が専門委員会に該当)

Step	実施主体	実施内容	時期
Step1	第5回認証委員会	専門委員会委員の承認	8月5日
Step2	専門委員会*1 (全2回想定)	グリーン熱方法論(案)の作成	8月以降
Step3	検証機関	グリーン熱方法論に関する追加要件*2の作成	秋冬頃
Step4	第6回認証委員会	グリーン熱方法論(案)の検討・承認・公表 グリーン熱方法論に関する追加要件の承認・公表	
Step5	第7回認証委員会	グリーン熱方法論に関する計画申請の認定・公表	

*1 専門的・技術的な検討となるため、専門委員会は非公開で実施。

*2追加要件とは、検証機関が検証を行うに当たって必要な細則を定めたもの。

3.アウトプットイメージ

◆ 専門委員会で策定するアウトプットイメージ

グリーン熱方法論(案)の構成要素

- 種別方法論番号
- 種別方法論の名称
- 適用条件
- グリーンエネルギーCO2削減相当量の算定方法
(グリーン熱のCO2換算方法)
- 算定根拠に係るモニタリング方法